

(対象事業：地域連携強化事業・地域文化資源整備活用事業・ミュージアム支援地域人材育成事業・国際交流拠点形成事業)

事業名： 聞いて・見て・舞って「広島・伝統の舞」

事業者名： 広島県立歴史民俗資料館

住所： 広島県三次市小田幸町122

TEL： 0824-66-2881

FAX： 0824-66-3106

HPアドレス： <http://www.manabi.pref.hiroshima.lg.jp/rekimin/>

連携事業者名： みよし風土記の丘友の会

会場： 広島県立歴史民俗資料館・広島県立みよし風土記の丘

事業期間： 平成22年6月1日 ～ 平成23年2月28日



広島県立歴史民俗資料館
広島県立みよし風土記の丘

1. 館の使命と本事業の関係

本館の使命は、考古・歴史・民俗等の資料の収集、保管、調査研究、展示、学習支援活動等を行い、本県の文化財に関する県民の理解を深め、教育・学術・文化の発展に寄与することである。特に、「中国山地と江の川」という県北部の特徴的な自然・風土によって形成された歴史・民俗を対象として資料館活動を行っており、中国山地の民俗についてもこれまで継続的に調査研究を行い、成果を展示会等で公開してきた。

こうした使命を果たすため、本事業では中国山地において特に盛んである神楽などの伝統芸能を取り上げ、より多くの県民の方に、祭礼の舞について詳しく知っていただき、触れていただき、体験していただく。

2. 企画内容

①事業目的

より多くの方に県内に伝わる祭礼と舞の特徴や歴史について理解していただくとともに、地域に伝わる伝統芸能・伝統的な舞に触れていただき、今後の伝統芸能の継承や地域の活性化に貢献する。また、地域の伝統文化を発信し、伝統文化の継承者や伝統文化に興味・関心をもつ多くの方々が集う場を提供するとともに、歴史や民俗文化を発信する拠点としての当館の役割を果たす。

②事業概要

- ア 広島県内に伝わる神楽・能楽についてその歴史と特色を整理。
広島県の神楽に大きな影響を与えた能楽、ルーツとなった舞楽・雅楽の特徴を整理。
- イ 祭礼に伴う伝統的な舞についての講演会の実施（2回）。
第1回講演会「まつりと歌・舞ひ・事始め」（水野正好氏 大阪府文化財センター理事長）
第2回講演会「広島県の神楽 ―歴史と特徴―」（三村泰臣氏 広島工業大学教授）
- ウ 能楽体験教室（ふどきの丘体験教室「能楽に親しもう」）の実施。
- エ 神楽公演会（特別公演「神楽公演 in 風土記の丘」）の実施。

3. 事業実績

(1) 事業の主な内容及び日程

広島県内に伝わる祭礼の舞には、平安時代に厳島神社に伝えられた舞楽、中世に成立し武家に愛好された能楽、近世・近代以降に現在のような形に整えられた神楽などがある。

今日、神楽は広く県民に知られ愛されているが、他の舞については日常接する機会が少ないのが現状である。これらの伝統的な舞の中から神楽と能楽を取り上げ、それらに関する上演会や体験教室を開催し、県民や地域の皆様に県内の伝統的な舞の特色や魅力を共有・体験していただくとともに、地域の文化活動の輪を広げることを目的として当事業を企画した。

ア 実施事業

(ア) 広島県内に伝わる神楽・能楽について、その歴史と特徴を整理。・・・広島伝統の舞

(イ) 祭礼に伴う伝統的な舞についての講演会の実施。・・・第1・2回講演会

(ウ) 能楽体験教室の実施。・・・ふどきの丘体験教室「能楽に親しもう」

(エ) 神楽公演会の実施。・・・特別公演「神楽公演 in 風土記の丘」

比婆荒神神楽 重要無形民俗文化財・・・「七座神事」・「岩戸開きの能」上演

芸北神楽・・・「紅葉狩」・「八岐大蛇」上演

イ 主な事業日程

実施時期	事業内容
9月24日	能楽体験教室打合せ
10月14日	神楽公演会打合せ
10月9日	第1回講演会「まつりと歌・舞ひ・事始め」（大阪府文化財協会理事長 水野正好氏）
10月23日	ふどきの丘体験教室「能楽に親しもう」
11月6日	特別公演「神楽公演 in 風土記の丘」
11月13日	第2回講演会「広島的神楽 ―歴史と特徴―」（広島工業大学教授 三村泰臣氏）
12月16日	成果検討会議
2月28日	報告書刊行

(2) 参加者の数

参加者人数	延べ 874人
内 訳：	第1回講演会・・・83人
	第2回講演会・・・73人
	能楽体験教室・・・68人
	神楽公演会・・・650人

(3) 事業により作成した印刷物等



広報用チラシ（左：表 右：裏）

神楽公演会の案内看板（左）

(4) 実施事業に関する新聞記事等

○テレビ、関連誌等

- 10月24日（日） NHK広島放送局 「能楽に親しもう」をニュースで放映
- 11月7日（日） 三次ケーブルビジョン 「神楽公演会」をニュースで放映

4. 事業の成果及び今後の課題

事業で実施したアンケート調査や、成果検討会議では、次のような事業成果が明らかとされました。

＜参加者の意見から＞

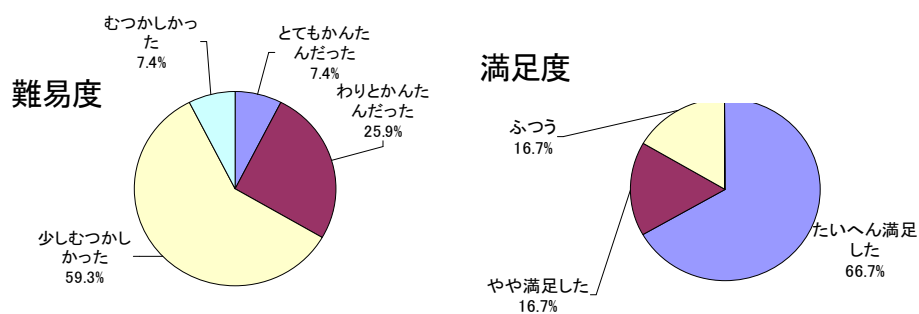
- ・ 日常接することができない伝統文化に触れ、さらに体験できて、非常に貴重な機会となった
- ・ 伝統文化への興味・関心がいっそう高まった。
- ・ 地域の伝統文化や歴史を大切にすることを育てるきっかけとなった。

＜指導・演者の意見から＞

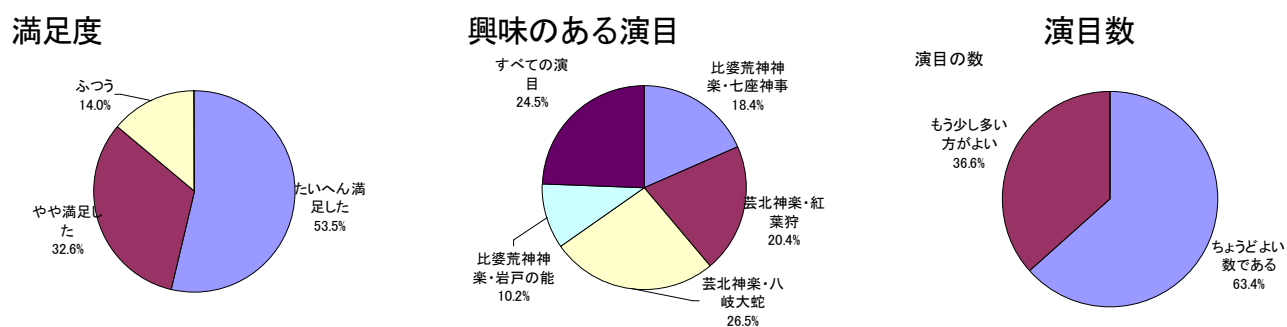
- ・ 種類が異なる神楽と共演できたことにより大変参考になった。
- ・ 短時間での上演が要求される公演会用では、受け継いできた演目を編集し直す必要性もあることがわかった。
- ・ 上演の機会を与えられることで、伝統文化の継承に張り合いと自信が持てるようになる。
- ・ 伝統文化の体験によって子どもたちの視野を広げることができ、子どもたちの自己実現や自律をうながすなど、子どもたちの教育に良い影響を与えたのではないかと。

こうしたことから、当事業は県民の皆様の伝統文化に対するニーズに応え、その興味・関心を高めたのみでなく、地域の伝統文化を継承するうえでも、また子どもたちの教育にとっても有意義な事業であったことがより明らかとなった。

「能楽に親しもう」アンケート結果



「神楽公演 in 風土記の丘」アンケート結果



第1回講演会
「まつりと歌・舞ひ・事始め」
講師：水野正好氏



第2回講演会
「広島神楽—歴史と特徴—」
講師：三村泰臣氏



特別公演
「神楽公演 in 風土記の丘」
特設ステージをセットして
伝統の舞を上演



ふどきの丘体験教室
「能楽に親しもう」
仕舞の体験の様子



ふどきの丘体験教室
「能楽に親しもう」
能管の体験の様子

